

# 心の原風景 —我が母校—

## 佐渡市立行谷小学校

昭和40年代に、日本で唯一トキを飼育したことがある行谷小学校。トキの学習は伝統として、今も脈々と受け継がれています。

4月には、校区内にあるトキの森公園で「トキ集会」を実施します。1、2年生は、施設の見学やトキについての話を聞きます。3年生以上は「トキ解説員（観光ガイド）」を行っています。また、行谷小で作った「トキの歌」を歌ったり、児童が行ったトキ募金を寄贈しています。



トキ解説員

6月には「水辺の生きもの調べ」を行っています。校区内にある田んぼ、川、ビオトープ等に出かけ、そこにどんな生きものが生息しているのか、その環境はどうなっているのかを調べます。

夏休みのお盆の時期には、再び3年生以上の児童がトキの森公園で「トキ解説員」を行っています。観光客に大変好評で、全国各地から学校に礼状が届くほどです。



文化祭でトキについての発表

10月の文化祭では、3、4年生がこれまで学習してきたトキに関する成果を劇にして発表します。今年度は、3次放鳥の直前だったため、自然界での雛の誕生の願いを込めて演じました。鑑賞した保護者からは、「トキについて詳しく分かった。」と感想を寄せていただきました。

他に、トキにも環境にもやさしい無農薬でのお米づくり、校地内でのビオトープ観察を行っています。これらの活動は、テレビや新聞で時々報道され、佐渡のPRにもつながっています。

これからも佐渡市、JA、地域、トキ保護センター、環境省、新潟大学、NPO法人など多くの皆さんの協力を得ながら、ふるさとにしっかりと目を向けた活動に頑張ってください。

◆教育委員会学校教育課（両津支所内）  
☎23-4898

## おいしい佐渡産を 食べよう!

～地産地消のススメ～



子どもたちに、佐渡産食材の良さを知ってもらい、おいしく食べてもらう取組みを行っています。

### 内海府中学校で 地場産物を活かした学校給食

内海府小・中学校では、子どもたちに地元の食材を使った給食を食べさせたいと、地元の鷺崎とれた米や魚などを学校給食に提供いただいています。1月24日、内海府中学校では、米や野菜を給食に提供している本間太郎さんから、本間さんが取り組む有機農法についての講話がありました。その日の給食には本間さんの米が出され、生徒は「二粒一粒心を込めて作られている米を感謝して食べたい」と、ゆっくり味わいながら食べていました。



本間さん(左)と一緒に給食

### 両津小学校で食育授業

1月25日に両津小学校4年生の食育授業が行われました。「佐渡トキの田んぼを守る会」会長の斎藤真一郎さんを講師に、朱鷺と暮らす郷認証米について学びました。児童は「トキ認証米は環境にもトキにもいいということが分かった」と感想を発表していました。



斎藤さん(写真右)がトキ認証米を解説

### 保育園でブリカツ丼給食

2月3日、ご当地グルメとして人気の「佐渡天然ブリカツ丼」が保育園の給食に登場しました。双葉保育園では、ブリの解体ショーも行われ、大きなブリに園児たちは大興奮。あごだし醤油ダレを使ったサクサクのブリカツは「おいしい!」と好評でした。



佐渡ご当地グルメ普及促進協議会の伊藤会長によるブリの解体ショー



ブリカツ丼  
おいしい!